



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6 県（長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県）でケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）の情報（各地の漁況と底層水温）を共同発行しましたので、お知らせします。

## I. 6月のイカ釣り漁況

◎各県の主要漁港における6月の水揚状況について（平年は直近の過去5年平均）。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を上回りました（前年比 232%、平年比 188%）。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年を上回り、平年並みでした（前年比 128%、平年比 103%）。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比 83%、平年比 59%）。
福岡県	代表港の水揚量は、前年、平年を上回りました（前年比 263%、平年比 270%）。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比 40%、平年比 54%）。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年を上回り、平年並みでした（前年比 133%、平年比 103%）。

◎各県の「1日1隻当たりの漁獲量（CPUE）の月別動向」（鳥取県のみ漁獲量で表示）および「6月の漁獲サイズ」について

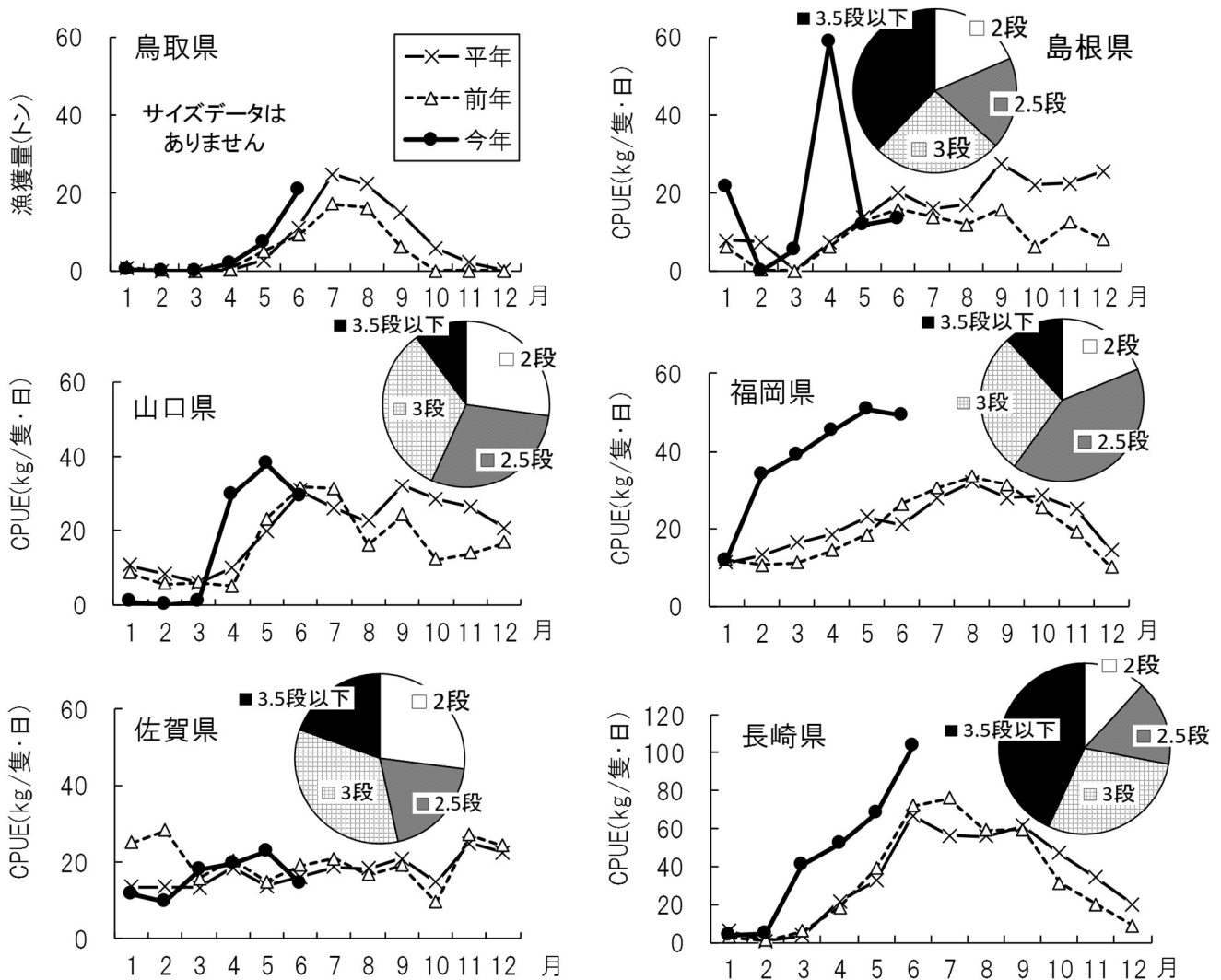


図1 各県の漁獲量またはCPUE（折れ線グラフ）および漁獲サイズの割合（円グラフ）

## Ⅱ. 7月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 78～143 m）の底層水温は 16.4～19.2℃でした。
島根県	7月は水温データがありません。
山口県	陸棚上（60～135m）の底層水温は 8.0～21.4℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 17～18℃台で、やや高め～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 21.0～21.6℃、対馬東水道は 17.1～20.9℃で、平年値と比べ-0.2～0.6℃でした。
長崎県	五島西沖の水温は 16～20℃台で推移しました。

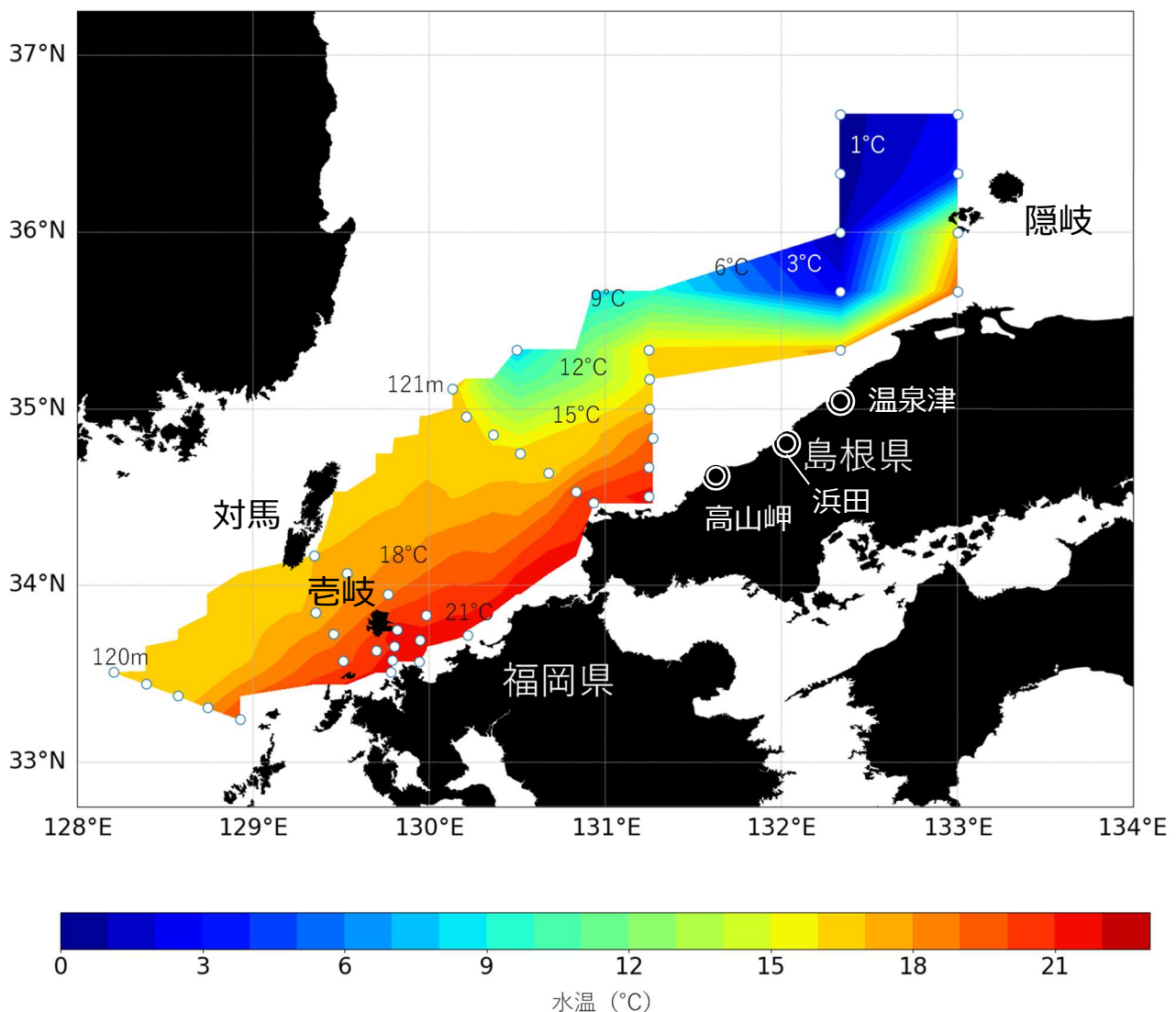


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図  
 図中の白丸（○）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。